

令和6年度 第4回結城市子ども・子育て会議 議事録

日時 令和7年3月25日（火）

午後2時から

場所 結城市役所 1階多目的スペース

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）結城市こども計画（第3期結城市子ども・子育て支援事業計画）について

事務局より、資料に基づき説明が行われた。委員からの質問・意見等は以下の通り。

稲葉会長 事業がたくさんあり大変だが、必要に応じて適宜見直しを図っていくということである。よろしくをお願いしたい。

白石委員 PDCA サイクルを回していくということなので、その辺りが今後どうなるか。せっかくいいものができているので、市民の皆様にもアピールしていただき、結城市の魅力を内外に伝えていっていただきたい。

事務局 計画書本編は200部印刷する予定であるため、庁内各課に配布し、共有を図りたい。議会にも計画書のデータを送付し、内容の共有を図りたいと考えている。市のホームページにもカラーで掲載予定である。概要版についても作成し、500部印刷する予定のため、どのように活用し、市民の皆様にもPRしていくか考えたい。

稲葉会長 パブリックコメントに意見がなかったということはよいことなのか悪いことなのか。

事務局 パブリックコメントは、市の要綱に則って1か月間各施設やホームページ、広報のお知らせ版でも周知を図り実施した。特にご意見がなかったということは、本会議における議論を経て、よいものができた、市民の皆様にも内容に関して納得いただいたと解釈したい。

稲葉会長 今後どのように計画を推進し、市民の方々に周知していくか、計画ができた後が重要である。アンケートについても詳細に分析されていたが、そうした結果を今後どのように消化していくかも重要である。概要版はできているのか。

事務局 計画書の冊子と共に、委員の皆様には概要版も配布させていただきたい。

白石委員 QRコードも記載してはどうか。

高橋委員 個人的には計画が作られる過程に関わっていたのでなんとなく理解はあるものの、一般の方々は計画自体を知らない方も多いかも。今後の計画の周知を含め、パブリックコメントについてもどこまで周知されていたか少し疑問ではある。

稲葉会長 概要版は手にとってもらいやすいかもしれないが、普通の市民は計画書を
手にとる機会は少ないかもしれない。概要版の部数が 500 部では少ない気も
する。

事務局 今回の印刷部数は 500 部だが、インターネット上でも閲覧は可能なため、
印刷物が足りなくなった場合には対応を考えたい。

荒井委員 まちコミメールでデータを流せば、保護者の方に見ていただけるかもしれ
ない。

事務局 まちコミメールなど、概要版を用いた周知について、教育サイドとも協議
したい。

稲葉会長 概要版の内容は市民に伝わりやすいよう工夫していただきたい。

事務局 概要版については、なるべく市民の皆様の目にとまるよう、配布先、配信
先を考えたい。

稲葉会長 概要版など、あるべきところがない場合も多いように思うため、設置場所
もよく考えていただきたい。

瀧田委員 P18 の合計特殊出生率について、全国、県よりも下がってしまっている。
若い人が結城市に住まなくなってしまったということもあるとは思いますが、下
がってしまった要因は何が考えられるか。

事務局 若い人に向けた魅力づくりが課題という面もあるかと思う。移住・定住に
向けた魅力発信の意味からも、本計画に加え、本日配布した子育てガイドブ
ック等も活用し、若い世代の定住や出生率の回復に向け、市の取組を周知し
ていきたい。

稲葉会長 結城市は若い人への住居手当が出ていないのか。先日、家賃をずっと払っ
ていけば、自己所有になるという他自治体の定住促進に関する取組が新聞で
紹介されていた。

宮田委員 令和 6 年の出生数自体はどのくらいか。令和 5 年が 230～240 人くらいだ
ったかと記憶しているが、年々少なくなっているし、今後劇的に増える
ことも難しいと思う。保護者の方とお話する印象として、こうした計画
があり、様々な施策やサービスがあることに安心を感じてこどもを持ちたい
と思うわけではないと思う。色々施策があるからこどもを持ちたいとなるの
ではなく、こどもができてから、住んでいる自治体でどんなことをやってい
るか見る人が多い。子育てしている人達も施策やサービスを中々知らない状
況がある。いきなり全員に知ってもらうのは難しいと思うので、学校や保育
園の保護者に対するアプローチから、妊婦さんなどに周知を広げていく。保
育園で保護者と話していても、こういうものがあるといっても、利用してい
る人でも知らない。いくらサービスがあっても、かなりの覚悟がなければこ
どもを持つまでにはいかない。24 時間分の一時預かり券も知らない人が多
い。市全体として子育てのコストを下げていくしかない。広報の仕方につい
ては、できるところから、小さいところからでもやっていき、広がっていく
ことを期待したい。子育て関連の情報を保育園の保護者の方に抜粋してお知
らせるとか、QR コードについても、市の HP に行くだけでなく、直接子育

ての情報につながるようにした方がよい。

事務局

出生数について、令和5年度は231人、令和6年度は2月時点で211人であり、令和6年度も令和5年度と同程度の数になりそうである。子育てガイドブック「結Life」について、表紙のQRコードは市のホームページにつながるものだが、表紙裏にあるQRコードからは様々な情報が集まった子育てガイドブックのページにつながる。ただ、ご指摘の通り表紙のQRコードから直接アクセスできる方が親切であるため、次回作成する際の参考にさせていただきたい。個人的には口コミが一番効果的であると思うので、委員の皆様にも計画や子育て情報の周知にご協力いただけるとありがたい。子育て関連の予算に関しては、全庁的に考えていかなければならない。庁内にも本計画の共有を図り、予算措置や事業化に関する協力体制を作っていきたい。

（２）特定教育・保育施設の利用定員について

事務局より、資料に基づき説明が行われた。委員からの質問・意見等は以下の通り。

瀧田委員

共働き家庭が増加に伴い、専業主婦が激減しており、1号認定が県内では毎年約1,500人ずつ減っている。減った分は認定こども園や保育所に流れている。この状況は結城市に限ったものではない。

稲葉会長

幼稚園が一番減っている状況か。

瀧田委員

県南の一部の幼稚園が、来年度から募集をやめるという情報もあった。

宮田委員

来年度の5歳児はコロナ禍の中生まれた子であり、3・4・5歳児はこどもが減ってきている時期のこどもたちである。幼稚園の1号認定と保育園の2号認定の大きな違いは、保護者の就労状況と保育に欠けているかどうかである。結城市は保護者にやさしい制度となっており、月48時間働いていれば保育園に入所できる。週12時間働けば、月曜日から金曜日まで保育園に8時間無償で預けられるということである。専業主婦世帯が少なくなっていることに加え、少ない勤務日数、時間でも保育園に預けられる実態がある。幼稚園は14時半くらいまでのところ、保育園なら8時半から16時半まで預けられ、3歳以降は保育料も無償となる。全体として1号認定を預かる幼稚園の数が少なくなっている。保護者が働くにはありがたい状況ではある一方、無償で預けられるなら保育園を選ぶ方が増えている。

事務局

委員のおっしゃる通りである。1号認定の定員数はかなり減っているものの、受け皿としては問題ない状況でもあるため、ご了承いただければと思う。

4 閉会

以上